

ぶんか かたけんといいんかい いいんちよう ぜんめんはいし パブリックコメント もんだいはつげんたすう  
**「文化センターのあり方検討委員会」委員長が「全面廃止」「パブコメいらない」など問題発言多数**  
 しろういほこ ぶんか しゆくしろう はいし ていげん  
**白井の誇り文化センターに縮小・廃止の提言**



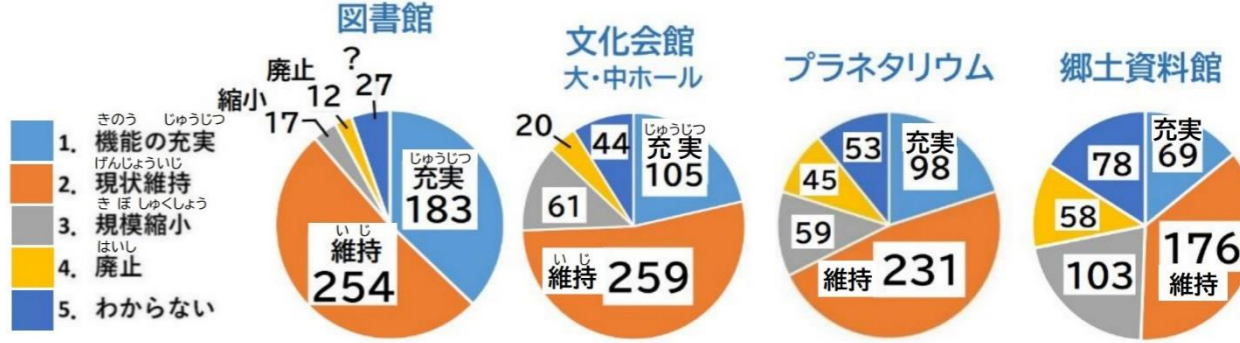
なかがわかつとし とくもとみつか  
**中川勝敏 徳本光香**

文化センターは、文化・教育4施設が集まり、市内外の小中学生や高齢者も利用する白井のシンボルです。開館28年で改修が必要になり、市は「文化センターのあり方検討委員会(以下、検討会)」に、今後について意見を求めました。

全9回の検討会には多くの問題がありました。委員長は、施設の存続を教育上の大切さから訴える委員の意見を否定し、「全面廃止やむなし」などの自論を繰り返しました。市民の意見を集めるパブリックコメントも行わず、存続を望む4施設の運営委員会や、市民のワークショップの意見も反映せずに、検討会は終了しました。

人生を豊かにする文化・教育を軽視する市が人を呼べるでしょうか。改修費を抑える前に、コロナ公園看板(中川・徳本・影山議員のみ反対)のようなムダを完全になくするのが先です。循環バスを日曜・祝日も運行させて行きやすくし、知恵を出して本気で取り組めば、さらに人が集まる、より魅力的な施設にできるはず。また市職員が努力している税収増加に期待します。

3月22日に検討会が出した提言をお知らせします。市長が方針を決めるのはこれからです。みなさんも、ぜひ無くされてしまう前に文化センターに足を運び、ぜひ意見を届けてください。



白井市民アンケートでは、「充実」「維持」を求める回答が過半数(2022年10月、日本共産党調べ)

文化センター4施設ホームページ



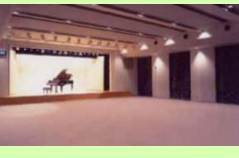
昨年10月7日、文化センターのあり方検討会の運営について、①交付金の説明を、②委員長の進行の改善、③パブコメ実施、④公平な提言、の要望を共同で出しました(左から柴田・小田川・影山市議、中川・徳本)

ぶんかかいかん  
**文化会館(大・中ホール)**

検討会提言⇒



**大ホール**  
 「舞台照明・音響・映像設備を**縮小**すべき。不適格(危険)な天井の適切な改修」



**中ホール**  
 「一部機能を**廃止**すべき。用途の変更、収益施設の導入、他の公共施設の移転などスペースを有効活用すべき」

**ここがスゴイ!** 大ホールは、プロの音楽家が、演奏する側にも聴く側にも素晴らしい音響設備と絶賛。子ども達の人生の貴重な経験に。中ホールは、大ホールより安く借りられ、発表・上映など多様に使えます。大ホール利用団体の多くが、心だんは中ホールを利用。素晴らしいことに、職員さんが、当日の照明や音響機材の操作などまでサポートしてくれます。

**検討会ここが問題!** 大ホールの設備を縮小したら収益になる企画はできるのか? 中ホール利用者の今後は? その後の具体的なことは「聞かれていない」と話し合われず。



きょうどしりょうかん  
**郷土資料館**



検討会提言⇒「展示室を**縮小**。デジタル化・近隣市と広域連携など」

**ここがスゴイ!**

白井の歴史がわかる展示のほか、西白井駅付近で遊んでいたという伝説がある『平家物語』の名馬「生食」の浮世絵など多彩な内容。もっと子どもも楽しめる説明や工夫があるとさらに素敵。和本・勾玉作りや古文書講座なども実施。PR動画を作成中です。

**検討会ここが問題!**

市内の別の場所に移転、広域連携などの意見が出たものの、深く議論されず、現実的なのか疑問です。



「縁結び大学」おすすめスポットとして紹介されました!



あなたと宇宙をつなぐ空間  
 しろいは星空への近道  
**プラネタリウム**

検討会提言⇒「存続/廃止」

**ここがスゴイ!** 音楽・居眠り上映、コンサート付、妊婦さん向け、貸し切りなど豊富な内容で、生の星を見る会も。年間2万人が利用し、幼稚園や市外の小中学校も学び、愛されています。非日常感が味わえる癒しの時空間です。

**検討会ここが問題!**

プラネタリウム運営協議会が存続を強く望み、検討会内でも、存続を望む意見の方が多かったのに、なぜか廃止の提案も入れました。市の職員も廃止の検討を促していました。廃止の提案理由は「採算性がない」「他市にある「ネットで学べばいい」などです。けれど、市内で幼い頃から宇宙を感じて学べる場所があるのは幸せなことではないでしょうか。

としよかん  
**図書館**

検討会提言

「蔵書数・面積を**縮小**し、他の公共施設の移転など新たな機能を導入」

**ここがスゴイ!**

本の数は56万冊と充実し、本屋がない白井市の読書文化を支える施設です。千葉県内や国立国会図書館とも相互協力し、本を借りられます。おススメ本や社会の話題にあわせた特集、他の施設と協力した企画も行い、子ども用のコーナーも工夫しています。

**検討会ここが問題!** 検討会の委員長は、身の丈に合わせ縮小すべきと言っていたが、本を買う予算も昔より減らされ、図書館運営協議会では「図書館は知の泉」だと、縮小反対の意見が出ています。「教育の白井」と言っている市の本気度が問われます。